

大会宣言(案)

私たちは本日、愛労連第54回定期大会を開催し、むこう1年間の活動方針を確立しました。大会では、賃金・労働条件の改善と安倍政権の悪政に対して、職場・地域から豊かな経験と教訓、反撃に向けた決意が語られました。

組合員のみなさん

安倍政権は「戦争する国づくり」に向けて安保法制(戦争法)を強行し、さらに暴走を続けています。参院選では、憲法改悪を争点から隠して、アベノミクスの(偽)の成果をアピールし、改憲勢力が衆参両院で3分の2以上を占めました。これにより改憲発議も可能となり、日本は今、戦後最大の危機に直面しています。

くらしと平和の面でも「世界で一番企業が活動しやすい国づくり」のために、労働者派遣法と社会保障制度の改悪、環太平洋連携協定(TPP)の大筋合意、原発再稼働など、あらゆる分野で、「日米同盟」と財界・大企業の利益最優先の政治を強行してきました。

しかし、国民の反撃も大きく前進しました。戦争法廃止や脱原発などさまざまな分野で新しい市民運動がわきおこり、参院選で野党共闘が実現しました。切実な要求実現に向けて可能性が広がっており、日本の未来にとって大きな希望となっています。

組合員のみなさん

職場では、非正規労働者が拡大し、長時間・過密労働が蔓延しています。「ブラック企業」での過酷な労働実態、いじめ・ハラスメントが増大し、多くの青年が奨学金返済に悩まされています。アベノミクスの恩恵は一部の大企業・富裕層のみで、労働者の実質賃金は5年連続マイナスです。多くの中小企業は単価の切り下げや消費税増税などに苦しみ、地域経済も疲弊し格差と貧困もいっそう深刻になっています。

愛労連は、憲法の精神を基本と取りくみをすすめてきました。すべての労働者の賃上げ、最低賃金引き上げ、働くルール確立、社会保障の拡充、沖縄・野古新基地建設反対、核兵器廃絶など、つねに労働者・国民のいのちとくらしを守る運動の先頭をたってきました。引き続き、安倍暴走政治とのたたかみにも、多くの労働者・国民との共同をひろげましょう。

組合員のみなさん

歴史的転換点にたっているいま、愛労連運動への期待と求められている課題を確実に前進させましょう。職場と地域を基礎に「第四次組織拡大3カ年計画」の目標をやり遂げ、早期に7万愛労連を築きましょう。本日の大会で確立した方針をすべての組合員が実践し、戦争する国づくりNo! くらしと平和のために、憲法が活きる職場・地域・社会をめざし、おおいに奮闘しましょう。

以上決議します。

2016年7月24日
愛知県労働組合総連合
第54回定期大会